

# 神奈川県シニア連合 機関紙

# あゆみ

■発行 神奈川県退職者連合  
 ■発行人 東谷裕明  
 ■連絡先 〒231-0023  
 横浜市中区山下町24-1 連合神奈川内

## 2022年1月1日(金) 第90号

【TEL】045-211-1133 【FAX】045-201-8866 【E-mail】Senior@rengo.or.jp

### 高齢者の社会保障づくり、

### 参議院議員選挙勝利に全力



#### 明けましておめでとうございます

2019年12月に発生した新型コロナウイルス感染症は、第5次感染を経て平常時に向かいつつあると安堵する間もなく、

新種のオミクロン株による第6次感染が懸念される中で新年の幕明けとなりました。

昨年の世相を表す漢字は「金」となりました。「2020東京オリンピック・パリオリンピック」で日本人選手の金メダルラッシュや大リーグの大谷選手の活躍を

思いつく限り、

一方で、世界的に自然災害の多発した一年でも

ありました。国内における「熱海の土石流」や「欧州の水害」「米国の竜巻災害」など、何れも温暖化の影響

響きと言われ、人類が取り組まなければならぬ喫

緊の課題です。私

拍を打ち、当事者を始め国民全体の声を反映した納得のいく論議を国会の場で進めて欲しいものです。

また、高齢者の就職差別、介護者による身体的・心理的虐待、家族等が本人に無断でその財産を処分するなどの経済的虐待が問題となっており、人権が尊重される社会を守る取り組みも必要です。

国内の政治状況は、安倍政権を継承した菅政権が一年で終了し岸田内閣が発足しました。結局は政治と金の問題など解消できず、年度の政治が継続されつつあります。

先般の総選挙では、自民党に絶対過半数を与える結果となりました。今年には参議院議員選挙の年です。何としても一強態勢を崩し与野党逆転の緊張した政治状況を作らなければなりません。そのために連合神奈川の推薦する候補者全員当選のため、神奈川シニア連合の総力を挙げることとして



神奈川県シニア連合  
会長 池田捷治

です。

今年、神奈川県シニア連合が1992年に発足して30年となります。今日まで多くの諸先輩のご尽力により今日を迎えることが出来ました。私たちは、この組織を更に充実させ引き継いでいかなければなりません。そのためには、今年も組織拡大、政策活動の充実等、ひとつひとつ丁寧に取り組みたいと思います。また、日本退職者連合は2025年度までに「シエンダー平等」行動の環境として「組織の女性役員構成比率を30%以上」にすることを掲げています。現在、神奈川シニア連合の幹事会の女性割合は27%ですが、更なる拡大を目指すこととします。

新型コロナウイルスの感染状況がまだまだ予断を許さない状況ですが、対策には万全を期して一年間活動を進めていきたいと思っております。コロナ禍に負けず共に頑張りましょう。

## 2022年度・第1回幹事会

## 細心の注意と判断で諸活動の推進



挨拶する池田会長

幹事会は、相沢義昭幹事(私鉄総連)の議長就任あいさつで開会。そして池田会長は「①第30回総会の協力を感謝する。②最近、コロナフレイルの言葉を耳にする。健康な状態から介護状態に移行していく中間の段階のことを指し、75歳以上がなりやすいことである。コロナ感染に注意しつつ、健康を維持し活動に参加願いたい。③12月21日に閉会した第207回臨時国会では、過去最高の36

神奈川シニア連合は、12月22日(月)15時00分からワークピア横浜において、2022年度・第1回幹事会を開催し①男女平等参画推進委員会からシエンター平等委員会への改称の確認。②会員数を基礎数値にした産別分担金の確認。③専門委員会等の設置と委員の確認。④「フードバンクかながわ」でのボランティア活動の実施など、2022年度の活動大綱を意思統一しました。

兆円の補正予算が決定した。また、2022年度一般会計の概算要求は、110兆円であり、日本の債務累計は1200兆円、国民一人当たり992万円である。将来に責任を持つ政治の実現に向け、今夏の参院選勝利に総力を挙げたい。④神奈川シニア連合は、30年の節目の年度である。コロナ感染に細心の注意・的確な状況判断をしながら諸活動の前進に向け頑張りたい」と挨拶。

続いて、東谷事務局長から第30回総会以降の活動報告が行われた後、JAMから新たに派遣された「菊池繁雄」新幹事の挨拶を受けました。

そして、協議事項である①シエンター平等委員会への改称の確認。②産別分担金の確認。③専門委員会4委員会(組織強化・財政検討委員会、ボランティア研究委員会、シエンター平等委員会、政策委員会)と役員選挙委員会、編集

委員会、結成30周年記念事業委員会の設置と委員の決定。④2022年度諸会議等の日程の確認。⑤第32回神奈川シニア集会実行委員会の設置と委員の決定。⑥「フードバンクかながわ」でのボランティア活動の実施について。⑦ボランティア基金の寄付先についての論議。⑧産別退職者会代表者会議、施設見学、視察研修旅行の実施の有無は、2022年度・第3回幹事会(4月13日)において決定。⑨当面の日程等について意思統一し、2022年度・第1回幹事会は終了しました。

## 食料品の寄贈を

「フードバンクかながわ」における2021年度(11月30日現在)の寄贈食品は、合計で155トンとなっています。しかし、こども食堂や支援施設への提供食品は、158・9トンであり提供量の方が上回っています。

会員の皆さん、生物や開封した食料品以外で賞味期限が2か月以上ある食料品を「フードバンクかながわ」に寄贈してください。

寄贈の品物は、労働組合の事務所、又は神奈川シニア連合事務所に送付して下さい。ご協力をお願いします。

※寄贈は、そうてつローゼン・イトーヨーカドー・無印良品店舗・ワークピア横浜などの「フードドライブ」(回収拠点)を設置されている所でも出来ます。

## 「フードバンクかながわ」でのボランティア中止

神奈川シニア連合は、1月25日から2月18日の間の5日間、産別退職者会の協力を得て「フードバンクかながわ」で寄贈された食品の検品と仕分け作業を行う予定でしたが、新型コロナウイルス異変株オミクロンの感染拡大により中止することになりました。

なお、8月までに異変株オミクロンなどが収束した時は、再度幹事会に提案しボランティア活動を行うこととなります。